

会員各位

鉄筋エキスポ

2017年11月24日（金）～26日（日）の3日間開催された、「鉄筋エキスポ2017」に参加しました。（写真－1 出展ブース 写真－2 柱方向溶接）

来場者数は、3日間で11,708名と多くの方に来て頂きました。

設計・施工等それぞれの業種の方に注目をして頂き、効率の良い優れた鉄筋の接合方法との評価をえました。協賛して頂いた会員様ありがとうございました。



写真－1 出展ブース



写真－2 柱方向溶接

自動溶接機 CBR-03 (写真-3 写真-4)

鉄筋の自動溶接機の開発は、平成に入ってから常に課題になっていました。

平成7年にはメカニカルな制御による自動溶接機が愛知工業大学で開発され、試験的に国立がんセンターの新築工事に使用されました。しかし、その時点では溶接技術者の不足は現在ほどでは無く、その後の使用は無くなりました。

平成29年になり、鉄筋溶接が年間数百万カ所に達し、溶接技術者の不足が顕著になってきました。平成7年には想像すらできなかったコンピュータの進歩および低価格化が進み、コンピュータ制御による各種の自動機が世に出るようになりました。一般社団法人CB工法協会ではこのような時代背景を受け、鉄筋の自動溶接機の開発に取り組み、CBR-03は平成29年11月の鉄筋EXPOで実演を行い、多くの支持を受けました。

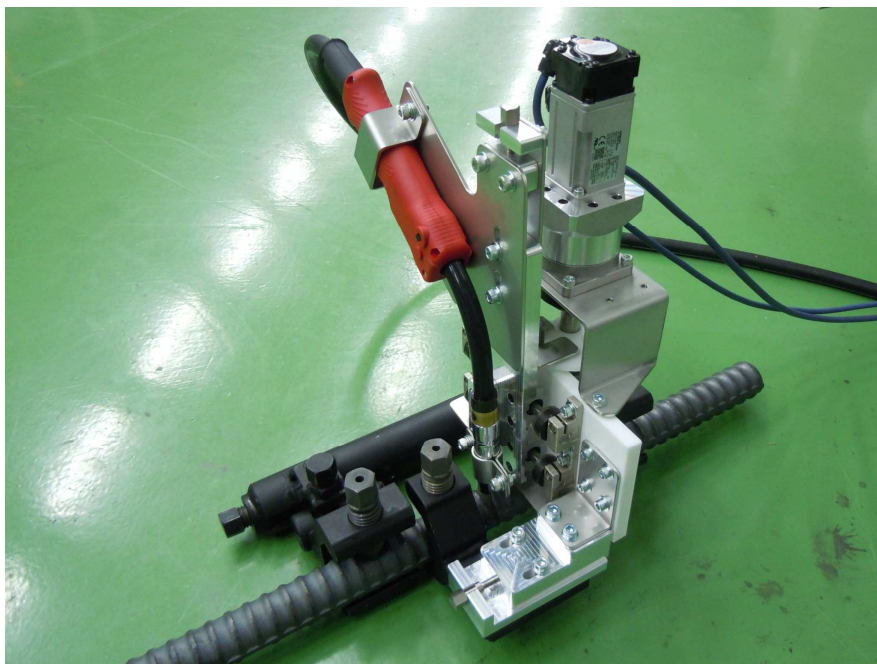


写真-3 自動溶接機 CBR-03

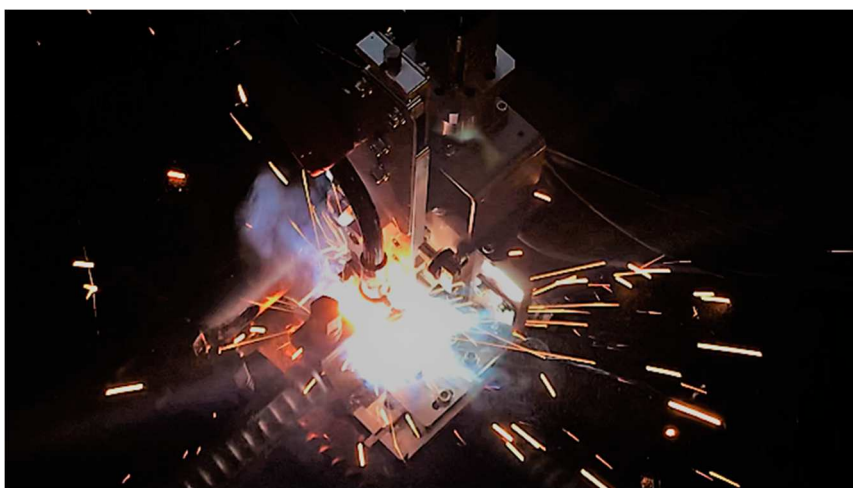


写真-4 自動溶接機 CBR-03